

企業で取り組む環境経営  
**エコアクション**  
21 vol.5

若手現場リーダーが  
主導する  
生産管理を通じた  
省エネ省資源活動

製造部製造課

まきとみ やすと  
**正富 泰人** さん(左)

総務室 室長

すえいし けんいち  
**居石 研一** さん(中央)

製造部製造課 担当課長

かどの いさる  
**門野 功** さん(右)

お話を聞きしたのは

阪神溶接機材株式会社

▶ CO<sub>2</sub>排出量と水使用量

※排出係数は0.791で計算



▶ 廃棄物再資源化率と  
使用済製品の新規回収先累計件数



食堂に設置された「EA21活動板」。個人別提案件数グラフやQCサークル活動報告など掲示しています。

以前から運用していた提案表彰制度に「省エネ」等のEA21取組項目も含めて、毎月1件を目標に全社員から提案を募っています。モチベーション維持のため活動板を設け、個人別提案件数の開示や活動報告を掲示しています。また法令に基づく遵守事項を見える化することにより、チェックを容易にしています。環境改善は

「エコアクション21に  
取り組まれたきっかけは？」

親会社である神戸製鋼所がISO14001を取得し、グループでの環境活動が強化されました。それを受け、わが社は「中小企業向けに取り組みやすい」と紹介されたエコアクション21(以下EA21)を2007年に取得しました。

特別なことではなく、品質向上にもつながる大切な仕事のひとつだと考えています。

「エコアクション21の改善活動」

溶融部門は電気炉の電気使用量の削減、焼結部門は乾燥炉の灯油使用量の削減、整備部門は機械・設備の適切なメンテナンスなど、各部門が省エネに繋げる努力をしています。これまでの経験や知識を活かし、どこまでなら乾燥温度を下げられるかなど、チームリーダーを中心に最適な条件を探りながら日々改善しています。

品質を維持・向上しながら省エネを推進するため、必要に応じ親会社への提案も行っています。廃棄物の有効活用としては大口顧客の使用済自社製品の回収と原料化に成功。自社の環境負荷削減はもちろん、取引先の廃棄物処理費用削減にもつながり、大変喜ばれています。

「全員参加の取り組みに  
向けての工夫」

社内挙げてEA21を推進するため、全課の責任者で「EA21事務局」を結成。情報を共有して

ます。また、社内QCサークル活動発表会では「環境」もテーマに力注いでいます。毎年開催される「神戸製鋼グループ環境会議」にも積極的に参加しています。今後は、電気炉の更なる電力削減やコスト削減額などの成果の見える化を工夫し、更なる改善に向け、取り組んでいきたいです。

阪神溶接機材株式会社

所在地 〒709-2105 岡山市北区御津伊田 1028-12  
従業員数 65名 (認証・登録日) 2007年1月10日

船舶、海洋構造物など巨大構造物建設時に使用する自動溶接に欠かせないフラックスを製造、生産量は国内の約7割を占めています(国内シェアNO.1)。

エコアクション21

環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証・登録する制度です。



エコアクション21 地域事務局岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1 Tel 086-298-2122 Fax 086-298-2496  
Mail ea21@kankyo.or.jp http://www.kankyo.or.jp

※ISO14001  
環境マネジメントシステム  
(EMS)の国際規格  
※QCサークル活動  
Quality Control  
(品質管理)を行う小集団改善活動